

【実施体制】

本学は、地域に根差し知的な創造を通して、世界の最先端へとチャレンジし、21世紀を切り拓いていく研究大学を目指している。平成25年度からを「まゆだまの10年」と位置付け、学長のリーダーシップの下、中長期の視点に立って、優秀な女性研究者を確実に増やしていく。さらに、女性研究者がその研究力を高めて各専門分野でリーダーシップを発揮できるよう支援や育成を充実させ、やがては共同研究を主導するための研究環境の整備を着実に推し進める。

前プランでは、「群馬大学男女共同参画推進基本計画」に女性研究者支援事業を明確に位置付け、全学で女性研究者の支援育成を強化した。本プランにおいても、男女共同参画推進委員会と男女共同参画推進室で構成される推進体制は、引き続き学長直属の組織とし、分散キャンパスに対応し、全学の関係機関と緊密に連携しつつ、現場に柔軟に対応できる機動性の高い組織とする。

【特長】

1. 「まゆだま広場」を活用した学部横断的で、きめ細やかな支援体制
2. 女性限定公募による上位職採用を「まゆだま加速プラン」で推進
3. リーダーとして貢献「ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク」

【取組概要(目標)】

1. 優秀な女性研究者の獲得と上位職増加の取組み

- ・在籍比率20%の早期達成をめざす。
- ・重点学部の理工学府では年平均1名以上の採用をめざす。
- ・女性限定公募による上位職の増加(まゆだま加速プラン)

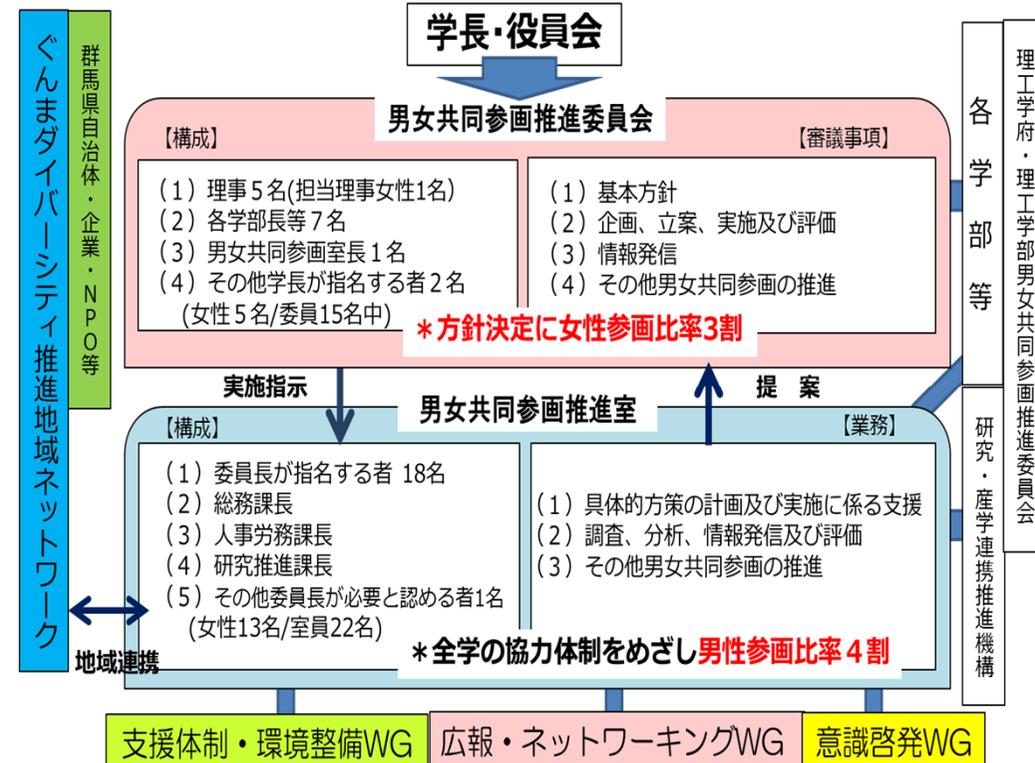
2. 学内外のネットワークの構築とイノベーションの創出

- ・「ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク」で地域活性化
- ・研究交流の場を構築、情報発信とマッチング機会を提供
- ・プロジェクトリーダーとなる共同研究を15件立ちあげる

3. 魅力ある研究環境整備と継続させるための好循環の構築

- ・研究とキャリアパスを支える複合的な相談体制を構築
- ・ライフイベントを抱えた研究者に、持続可能な環境を整備
- ・つながり紡ぐ好循環を生み出す機会の提供と意識啓発

【体制の概要】



【支援内容】

- 「まゆだま加速プラン」によるスタートアップ支援 ……准教授以上の採用にインセンティブのスタートアップ研究費配分
- 優秀な女性研究者のための「プロジェクトリーダー助成」…女性が研究リーダーとなる共同研究のマネジメント経費を補助
- 研究開発にかかる経費等の補助 ……優秀な若手女性研究者の研究会等の企画・提案を支援
- 地域の「放課後児童クラブ」との連携 ……民間団体と連携し、ニーズにあった柔軟な学童保育支援を展開
- 複合的な相談体制の構築 ……両立支援アドバイザーと男女共同参画推進室員、関係課の連携でライフイベントとの両立に向けた相談体制を充実

【まゆだまプラン-アドバンストへ 男女共同参画推進室の軌跡】

- 平成25年度 群馬大学男女共同参画推進室設立
群馬大学男女共同参画推進基本計画策定
女性研究者研究活動支援事業「まゆだまプラン」採択
- 平成27年度 「くるみんマーク」の認定
- 平成28年度 女性の学長特命担当理事を任命
- 平成28年度 理工学府に独自の男女共同参画推進委員会を設置
- 平成29年度 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ採択

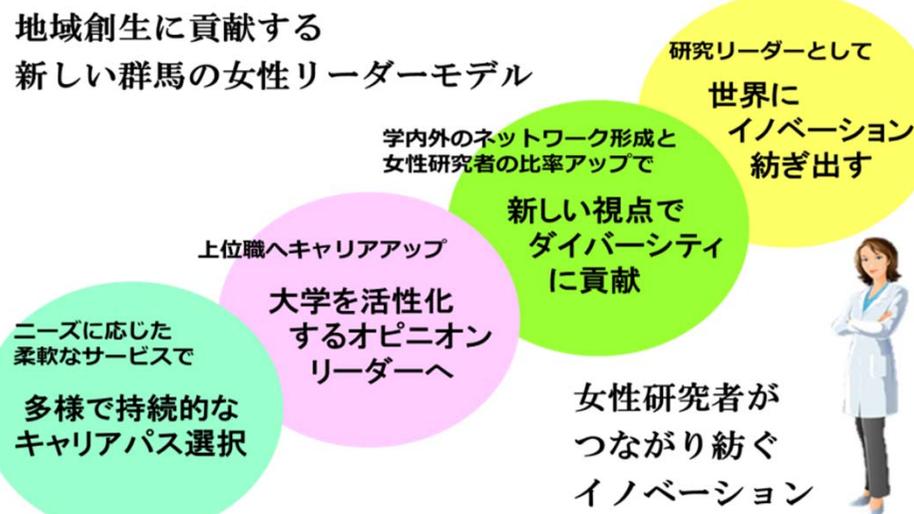
支援体制・環境整備WG

- 各キャンパスに「まゆだま広場」を設置
3つの分散するキャンパスに女性研究者支援の拠点として開設
- 両立支援アドバイザーによる両立支援
きめ細やかな相談で170件を超える相談実績(平成28年度)
- 研究活動支援制度による研究活動支援員の配置
制度の効果的な活用で研究業績が2倍(平成25-27年実績)

意識啓発WG

- シンポジウム、各種セミナーや講座の開催
意識啓発のためシンポジウムやセミナー、研究力アップやマネジメント力の養成に役立つ講座開催
- 全学ランチミーティングの開催
大学幹部と女性研究者との交流会を定期開催

「まゆだまプラン-アドバンスト」で描くまゆだまの10年



広報・ネットワーキングWG

- 「まゆだま通信」・「まゆだま情報クリップ」を定期発行
- 「ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク」
平成28年11月設立 県内の13高等教育機関が参加

【お問合せ】

機関名：国立大学法人 群馬大学
所在地：群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
連絡先：027-220-7146 :kyodo-sankaku@jimu.gunma-u.ac.jp
HP：http://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp